

ホクレン・ディスタンスチャレンジ網走大会

【出場結果】

実施日 : 7月22日(月) 5000m

会場 : 網走市営陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 ・ 西沢 晃佑

出場種目・出場者・リザルト

氏名	親崎	西沢
種目	5000m	
組	C組	
1000m	2' 51 "0	2' 50 "0
2000m	5' 44 "2	5' 43 "5
3000m	8' 45 "0	8' 46 "1
4000m	11' 48 "3	11' 58 "7
5000m	14' 49" 06	15' 05" 88
順位	17/33	26/33

【レポート】

本大会は日本陸上競技連盟が運営協力し、国際競技会で活躍できる中長距離選手の育成・強化を図ることを目的とした大会となります。

北海道内の千歳市から始まり士別市、深川市、北見市、網走市を開催場所として全5戦を全国から実業団、大学生、高校生の有望選手が出場し、当社からは最終戦の網走大会に親崎と西沢が自己ベスト更新を目標に出場してきました。



当日は北海道らしく湿度のない天候ではあったものの、オホーツク海からの強い風が吹き付ける厳しいコンディションの中でレースはスタートしました。

2名の出場したC組は14分10秒を設定タイムとして、2分50秒/kmを刻むペースメーカーが付いており、2名とも前半シーズン最後のトラックレースということもあり、積極的に先頭集団に付いていく展開となりました。

しかし強風が吹きつけるバックストレートで次第に体力を奪われると2000m過ぎから2名とも動きが鈍くなり、先頭集団から少しずつ距離を開けられる展開となると、強風をもろに受けることとなり、親崎は何とか粘って後半の落ち込みを最低限に留めたものの、自己ベストとは大きく乖離する14分49秒でゴール、西沢は最後までペースを盛り返すことが出来ず15分5秒でゴールとなりました。



貴重な北海道遠征の機会を頂き、選手達も自身の持てる力を発揮しようと集中してレースに出場しましたが、まだまだ厳しい条件の中でも走りぬく力が不足している結果となりました。今回の悔しい結果を貴重な経験として次に繋げられる様、日々の練習に取り組んで参ります。

今後とも、皆様の温かいご声援をお願い致します。